

線区別収支

(平均通過人員が2,000人/日未満の線区)

線名	区間	営業キロ (km)	2018年度収支(百万円)			【参考】 平均通過人員(人/日)		
			営業収益	営業費	営業損益	1987年度	2018年度	減少率
日豊本線	佐伯～延岡	58.4	396	1,070	▲674	3,428	889	▲74%
	都城～国分	42.2	442	833	▲392	2,029	1,438	▲29%
筑肥線	伊万里～唐津	33.1	39	232	▲193	728	222	▲70%
宮崎空港線	田吉～宮崎空港	1.4	94	99	▲6	—	1,918	—
筑豊本線	桂川～原田	20.8	—	—	—	2,981	— (534) ^{※1}	—
日田彦山線	田川後藤寺～夜明	38.7	—	—	—	1,103	— (299) ^{※2}	—
後藤寺線	新飯塚～田川後藤寺	13.3	76	255	▲179	1,728	1,315	▲24%
久大本線	日田～由布院	51.5	708	962	▲254	2,564	1,756(2,027) ^{※3}	▲32%
唐津線	唐津～西唐津	2.2	33	262	▲229	1,315	1,005	▲24%
豊肥本線	肥後大津～宮地	30.8	—	—	—	2,711	— (1,854) ^{※4}	—
	宮地～豊後竹田	34.6	44	392	▲348	1,028	101 (463) ^{※5}	▲90%
	豊後竹田～三重町	23.9	112	318	▲206	2,384	951(1,331) ^{※5}	▲60%
肥薩線	八代～人吉	51.8	271	844	▲573	2,171	455	▲79%
	人吉～吉松	35.0	61	322	▲261	569	105	▲82%
	吉松～隼人	37.4	120	479	▲359	1,109	656	▲41%
三角線	宇土～三角	25.6	157	430	▲273	2,415	1,242	▲49%
吉都線	吉松～都城	61.6	90	430	▲341	1,518	465	▲69%
指宿枕崎線	指宿～枕崎	42.1	43	448	▲405	942	291	▲69%
日南線	田吉～油津	44.0	212	697	▲485	2,129	1,160	▲46%
	油津～志布志	42.9	38	436	▲398	669	193	▲71%

- 四捨五入の関係で、「営業収益-営業費」と「営業損益」が一致しない場合があります。
- 営業費は当該線区の鉄道事業にかかる費用のみを計上しています。なお、本社・支社にかかる費用、指令所等にかかる費用は計上していません。
- 平均通過人員は、ご利用されるお客さまの1kmあたりの人数を表し、当社が国土交通省に毎年報告する鉄道事業実績報告書に基づき、以下の計算により算出しています。
【平均通過人員】＝【各路線の年度内の旅客輸送人キロ】÷【当該路線の年度内営業キロ】÷【年度内営業日数】
- 線名・区間・営業キロは2018年度末現在の情報を基に算出しています。
- 1987年度の平均通過人員は1987年度当時の営業キロを基に算出しています。
- 災害の影響で運休期間がある線区の扱いは以下のとおりです。
 - ※1：筑豊本線(桂川～原田)に平成30年7月豪雨に伴い運休していた期間があるため、参考値として、カッコ内に2017年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。収支は算出していません。
 - ※2：日田彦山線(添田～夜明)に平成29年九州北部豪雨に伴い運休が発生しているため、参考値として、カッコ内に2016年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。収支は算出していません。
 - ※3：久大本線(光岡～日田)に平成29年九州北部豪雨に伴い運休していた期間があるため、参考値として、カッコ内に2016年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。
 - ※4：豊肥本線(肥後大津～阿蘇)に平成28年熊本地震に伴い運休が発生しているため、参考値として、カッコ内に2015年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。収支は算出していません。
 - ※5：豊肥本線(肥後大津～阿蘇)に平成28年熊本地震に伴い運休が発生しているため、参考値として、カッコ内に2015年度(被災前年度)の平均通過人員を記載しています。